

Techno Report

排水処理設備の汚泥発生ゼロ

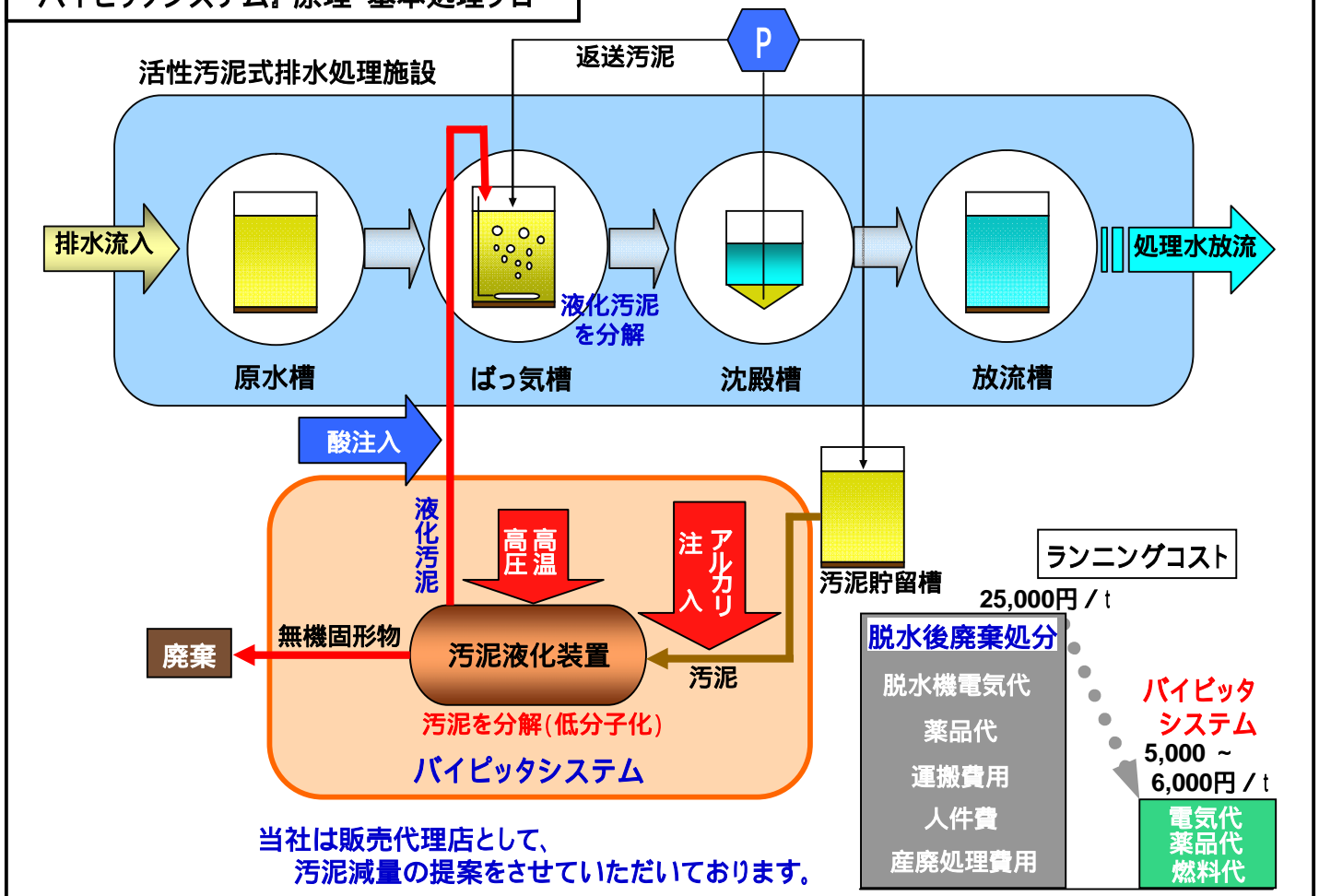
排水処理設備から排出される汚泥の処理が大きな社会問題になりつつあります。日本の産業廃棄物の総量は年間約4億トンといわれ、その半分以上を「汚泥」が占めています。近年、下水道の普及と共に汚泥の排出は増加傾向にありますが、その60%しか有効活用されておらず、残りの40%は埋め立て処分されています。その埋め立て処分も最終処理場の確保が危機的な状況にあり、汚泥自体の排出を削減する試みやリサイクルへの取り組みが進んでいます。今回は、この余剰汚泥を減量する「パイピットシステム」を紹介します。

他の方法では分解することが困難な余剰汚泥を、特許「アルカリ高温高压法」によりナノサイズの液化汚泥に分解し、既設の活性汚泥にて分解する。（平成18年1月6日特許取得 特許第3756827号）

特徴

- 有機性余剰汚泥がほぼ100%減量可能。
- 有機性汚泥を場内処分し、ゼロエミッションを実現。
- 茶かす、コーヒーかす、食品残渣等の有機性廃棄物も液化、減量。
- 既設処理水にほぼ影響なし。
- 脱水設備 + 付帯設備と比較してイニシャルコストが安価。

「パイピットシステム」原理・基本処理フロー



発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会
 〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-363-1922
 太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉支店 TEL 049-279-3011
 URL: <http://www.fujita-tec.co.jp> MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp (メール配信ご希望の方はこちらまで)

2009年6月10日発行
 編集 / 三ツ井 都木
 問合せ先: 技術部 / 都木 杉本

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させていただきますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。